

解答プリント「中学社会・地理的分野」

■補充プリント

8 世界から見た日本②／九州地方

【評価の観点】㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>㊧ ① 機械類</p> <p>㊧ ② 石油</p> <p>㊧ ③ せんい品</p> <p>㊧ ④ 鉄鋼</p> <p>㊧ ⑤ 中国</p> <p>㊧ ⑥ アメリカ合衆国</p>	<p>㊧ ① 日本の輸出品の多くは工業製品で、その中でも特に多いのが機械類である。輸入品の割合でも機械類が増加している。</p> <p>② 日本は消費する石油の99%以上を輸入に頼っている。輸入額に占める石油の割合は石油価格、円の価値によって変化するが、原材料の中では最も多い。</p> <p>③ せんい品は1960年代まで日本の輸出品の中心であったが、現在は輸出総額の1%程度となっている。</p> <p>④ 日本の鉄鋼生産量は1990年代後半まで世界一であった。</p> <p>⑤⑥ 日本の貿易相手国について、輸入相手国は2002年から中国がアメリカ合衆国を抜いて1位となっている。なお、輸出相手国は2009年から2012年までは中国、2013年はアメリカ合衆国が1位となっている。</p>
<p>㊧ (1) 九州山地</p> <p>㊧ (2) 筑紫平野</p> <p>㊧ (3) 阿蘇山</p> <p>㊧ (4) 宮崎平野</p> <p>㊧ (5) 屋久島</p>	<p>㊧ (1) 九州山地は林業がさかんで、水力発電所も多くつくられている。</p> <p>(2) 筑紫平野は筑後川流域に広がり、有明海沿岸は干拓により農地が広げられた。</p> <p>(3) 阿蘇山は世界有数のカルデラで知られている。周辺には多くの温泉もある。</p> <p>(4) 宮崎平野では、園芸農業や酪農などが発達している。</p> <p>(5) 屋久島は鹿児島県に属する。1993年に世界自然遺産に登録された。</p>
<p>㊨ (1) 第三次産業</p> <p>㊨ (2) カルデラ</p> <p>㊨ (3) 対馬海流</p> <p>㊨ (4) 八幡製鉄所</p> <p>㊨ (5) アメリカ合衆国</p>	<p>㊧ (1) 第三次産業とは商業・サービス業などをさす。2013年現在、就業者の約7割が第三次産業に従事している。</p> <p>(2) カルデラの跡に水がたまってできたのがカルデラ湖で、十和田湖、洞爺湖、屈斜路湖などがある。</p> <p>(3) 日本海沿岸に沿って北上するため、沿岸の都市は同緯度の太平洋側の都市に比べて温暖な気候となっている。</p> <p>(4) かつては、日本の鉄鋼生産の中心であった。</p> <p>(5) 1972年に日本に返還される前の沖縄は、通貨はドルで、本土から沖縄に行くにもパスポートが必要であった。</p>